

やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」(青森)発行

誌 名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	35 / 2014 / 28 (再編集版)
タイトル	ナラメリンゴフシ(虫えい)の観察
著 者 名	小山内孝

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

ナラメリンゴフシ(虫えい)の観察

元顧問 小山内 孝

ナラメリンゴフシの美しい虫えいを見つけたのは、私の所の里山で、2010年6月です。早速、「日本原色虫図鑑」著：湯川淳一、榎田長を見て、石井象二郎(京都大学名誉教授)の発刊によせての、その著の言葉から、「コナラの芽に作られる小さなリンゴのような虫えい(ナラメリンゴフシ)」が、古くから有名であること、又、ヤマブドウやエビヅル、ノブドウにつくヤマブドウハトックリフシなど、多くの美しい形の面白いものが沢山あることを知りました。

又、ナラメリンゴフシは、ミズナラ、コナラなどの芽に形成される虫えいですが、ナラダンゴバチ、ナラリンゴタマバチ、ナラリンゴフシバチ、ナラダンゴバチなどによって、芽に形成される虫えいだと書いてありました。どの昆虫なのか知りたいものです。



写真1



写真2



写真3



写真4

写真1 2010年6月2日のナラメリンゴフシの写真です。

写真2 2014年2月10日の同じ場所の冬の枝に付いているナラメリンゴフシの虫えいの殻です。

写真3 2014年3月、それが落ちてスポンジ状になったものです。

写真4 2014年6月に、ミズナラの木に再度発生したナラメリンゴフシです。

2011年～2013年は、新しいナラメリンゴフシは発生しませんでした。大発生してから4年目です。今後、ナラメリンゴフシの発生に周期性があるか、観察を続けたいと思っています。